

## 『『未知への挑戦』とくしま行動計画』及び 『v s 東京』とくしま回帰』総合戦略』の評価結果の概要

### 1 県政運営評価戦略会議について

政策推進に係る「県民意見の積極的な反映」と「県民目線からのチェック機能の強化」を図るため、県政運営評価戦略会議（以下「戦略会議」という。）を設置している。

この戦略会議において、令和元年7月に策定された県政の運営指針である『『未知への挑戦』とくしま行動計画』（以下「行動計画」という。）及び挙県一致で地方創生を推進するための『v s 東京』とくしま回帰』総合戦略』（以下「総合戦略」という。）の施策について、評価を行った。

評価結果は、「徳島県総合計画審議会」、「地方創生“挙県一致”協議会」にそれぞれ提言し、次年度の行動計画や今年3月に策定された「第2期総合戦略」の改善見直し、新たな施策展開等につなげていくこととしている。

あわせて、「とくしま目安箱」等に寄せられた県民からの意見・提言の中から優れたものを選定し、「徳島県総合計画審議会」に提言することにより、県政への積極的な反映を図ることとしている。

### 2 評価方法について

#### （1）評価の対象

行動計画に位置付けられた主要施策（91施策）及び総合戦略に位置付けられた具体的な施策（14施策）を対象とした。

#### （2）評価の視点

今年度は、令和元年度に行動計画が策定されたことを受けて、その初回評価を実施するとともに、総合戦略は、平成27年度から令和元年度までの5年間で計画期間を満了したため、総括（最終）評価として実施した。

また、評価基準の客観化や計画の改善見直しに向けた「委員からの提言」への重点化を図るなどの評価方法の見直しを行った。

#### （3）戦略会議の開催状況

行動計画及び総合戦略について、全3回開催した。

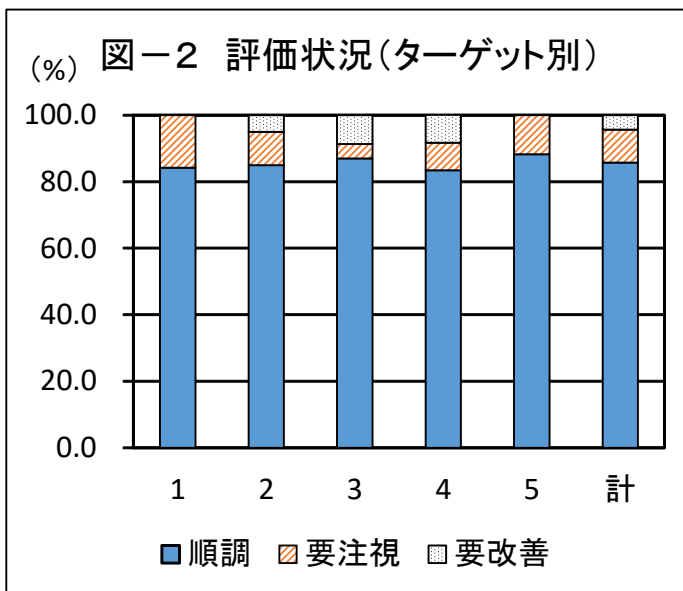
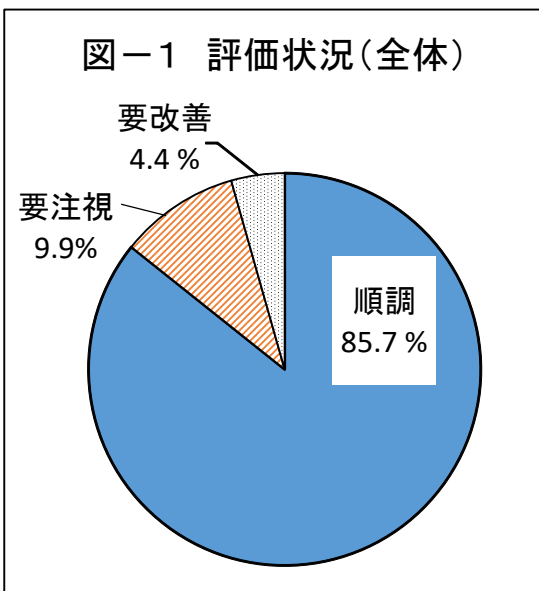
### 3 行動計画の評価結果について

#### (1) 総括

「順調」と評価されたものが78施策(85.7%),「要注視」と評価されたものが9施策(9.9%),「要改善」と評価されたものが4施策(4.4%)となった。

表-1 主要施策の評価結果

ターゲット	評価区分						主要 施策数
	順調 (%)		要注視 (%)		要改善 (%)		
1 未来へ雄飛!「笑顔とくしま・県民活躍」の実装	16	84.2	3	15.8	0	0.0	19
2 未来へ加速!「強靱とくしま・安全安心」の実装	17	85.0	2	10.0	1	5.0	20
3 未来へ挑戦!「発展とくしま・革新創造」の実装	20	87.0	1	4.3	2	8.7	23
4 未来へ発信!「躍動とくしま・感動宝島」の実装	10	83.4	1	8.3	1	8.3	12
5 未来へ継承!「循環とくしま・持続社会」の実装	15	88.2	2	11.8	0	0.0	17
計	78	85.7	9	9.9	4	4.4	91



## (2) ターゲット別 意見提言（抜粋）

### **ターゲット1 未来へ雄飛！「笑顔とくしま・県民活躍」の実装**

- 移住・交流施策について、新型コロナウイルス感染症の影響で働き方が変化しており、基本的には徳島に住みながら、テレワークで都市部の会社に勤め、週数回出勤するという働き方が可能性として高まってきていることを踏まえ、今後は、移動コストの面で徳島から往来しやすい関西圏を重点ターゲットとしてはどうか。
- 今の時代、アクティブシニアの活躍推進のためには、高齢者のICT活用能力を底上げする必要がある、そのための取組として、例えば、高齢者の「eスポーツ」チームを推進するといった、徳島ならではの施策を検討してもらいたい。
- 待機児童について、希望の保育施設に入所を断られた場合、特に共働き世帯では、無理をしながらでも遠くの施設に入所している例もあるので、子育て支援の施策について実情を把握するための指標としては、待機児童数だけではなく、入所を断られた数も加味すべきである。

### **ターゲット2 未来へ加速！「強靱とくしま・安全安心」の実装**

- 災害時における「新しい生活様式」を踏まえた対応策を早急に取り入れるとともに、新たな対応策に県民がスムーズに対応できるように普及啓発を組織横断的に検討すべきである。
- 今後、感染症への対応を迅速かつ的確に進めるためには、マイナンバーを医療情報等と連携させ、様々な場面で有効活用することを検討するべきではないか。
- 小水力発電について、化石燃料や原子力発電に頼らない、近い将来の自然エネルギーとして、普及促進すべき課題であるので、引き続き、施策を推進してもらいたい。

### **ターゲット3 未来へ挑戦！「発展とくしま・革新創造」の実装**

- 観光誘客の推進について、インバウンドの施策がクローズアップされがちであるが、国内観光の方がマーケットが大きいので、国内観光にもしっかりと目を向けて施策を打つべきである。
- 農地には、農業生産の機能だけではなく、農村景観の維持、生物多様性の保全、洪水の低減といった機能もあるので、そういった観点にも配慮した上で、農地集積を進めてもらいたい。
- ICTを活用した遠隔授業による教育が推進される中、各家庭でのICT機器や通信の環境も考慮した上で、児童生徒が平等に教育を受けられる環境を徹底するとともに、教員に過度な負担をかけないよう配慮してもらいたい。

#### **ターゲット4 未来へ発信！「躍動とくしま・感動宝島」の実装**

- 「マチ★アソビ」について、運営体制には変更があったものの、引き続き、これまで県を挙げて育ててきた徳島のアニメ文化を発展させてもらいたい。
- 「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産登録への施策について、「ふるさと納税制度」によるクラウドファンディングを活用した遍路道の整備や遍路小屋へのWi-Fi設置の取組は、徳島ならではの施策として高く評価できるので、引き続き、世界遺産登録に向けて施策を推進してもらいたい。
- アスリートの育成強化について、国体や高校総体で結果を出すためには、マイナースポーツにも力を入れて強化するとともに、トップ選手に対するフォローについてどこに重点を置くべきか、方針を再検証することが必要ではないか。

#### **ターゲット5 未来へ継承！「循環とくしま・持続社会」の実装**

- 食品ロスの解消のためには、大人に向けた取組だけでなく、学校給食でも食品残渣が多く出ていることから、子どもの頃から食べ物の大切さを伝える教育に取り組む必要がある。
- 人工造林の推進にあたっては、担い手を育成する取組が実施されているが、作業現場の奥地化が進んでおり、急傾斜のため作業者への負担が大きくなっているという問題もあるので、それについても軽減する対策が必要である。
- コウノトリについて、先般、耕作放棄地に餌場のビオトープが完成したが、今後、他の場所でのビオトープの整備にあたっては、県と鳴門市が協力し、整備計画の後押しとなる支援をしてもらいたい。

## 4 総合戦略の評価結果について

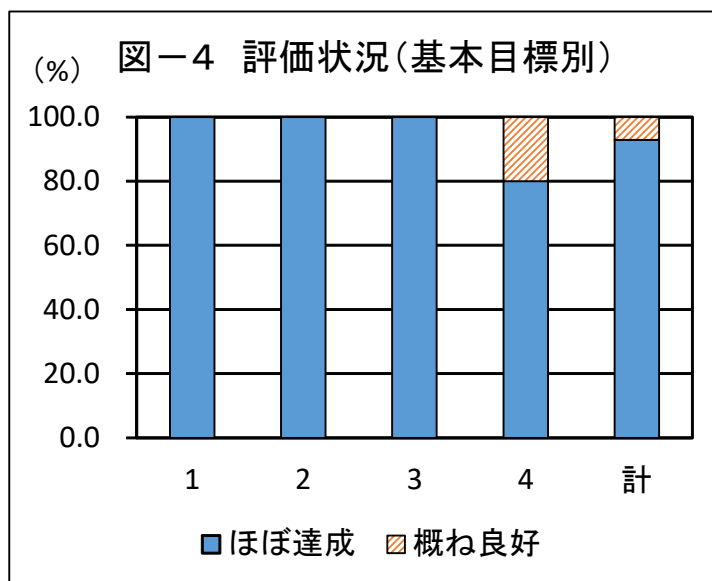
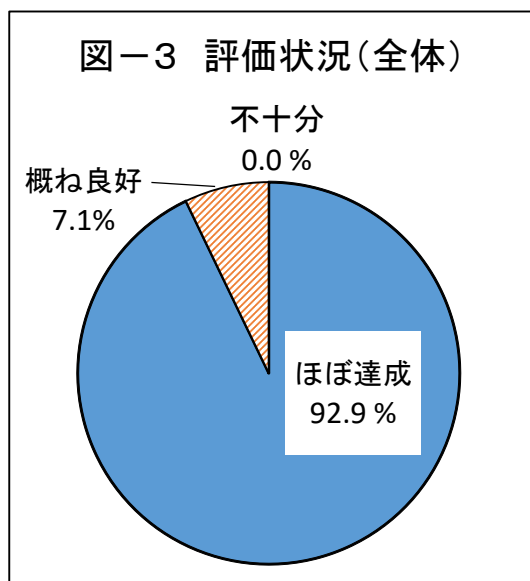
### (1) 総括

「ほぼ達成」と評価されたものが13施策(92.9%)、「概ね良好」と評価されたものが1施策(7.1%)、「不十分」と評価されたものはなかった。

表-2 具体的な施策の評価結果

基本目標	評価区分						具体的な 施策数
	ほぼ達成 (%)		概ね良好 (%)		不十分 (%)		
1 新しい人の流れづくり	3	100.0	0	0.0	0	0.0	3
2 地域における仕事づくり	3	100.0	0	0.0	0	0.0	3
3 結婚・出産・子育ての環境づくり	3	100.0	0	0.0	0	0.0	3
4 活力ある暮らしやすい地域づくり	4	80.0	1	20.0	0	0.0	5
計	13	92.9	1	7.1	0	0.0	14
参考 R元年度の評価結果	A 順調 (%)		B 概ね順調 (%)		C 要見直し (%)		主要 事業数
	96	71.6	25	18.7	13	9.7	

※ 昨年度までは具体的な施策を構成する主要事業が評価単位。今年度からは、評価精度をさらに高め、具体的な施策を評価単位としている。



## (2) 基本目標別 意見提言（抜粋）

### **基本目標1 新しい人の流れづくり**

- 交流人口や関係人口の拡大にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響で、大都市部への一極集中に対する社会意識や働き方等がドラスティックに変わる中、その変化を迅速に把握し、政策判断に反映してほしい。
- 個別の施策については数値目標をほとんど達成している一方、最終的な目的である「転入・転出者数」は改善に向かっていないので、転出超過の歯止めに真に結びつくような個別の施策を再検証する必要がある。

### **基本目標2 地域における仕事づくり**

- 各取組により地域における仕事の創出が進んでいるが、次のステップとして、それをどのように若い世代に発信し、人口減少対策につなげていくのかという、もう一歩先を見据えた仕組みづくりを検討しなければならない。
- 若者にとって魅力的な仕事の内容は、時代とともに変わってきているので、若者のニーズをしっかりと把握し、それにマッチした施策を展開すべきである。

### **基本目標3 結婚・出産・子育ての環境づくり**

- 子育て支援について、認定こども園の設置数は伸びており、施策全体的にはほぼ達成されている一方、「待機児童数」については解消されていないので、要因と課題をしっかりと分析し、「子ども」を大事にする県として改善に尽力してほしい。

### **基本目標4 活力ある暮らしやすい地域づくり**

- 徳島県版地方創生特区の指定については、国の動きを待つだけでなく、既存の特区の地域づくりを充実・深化させたり、特区の指定以外にも、徳島独自の特色ある問題解決の実践を幅広く支援したりするなど、県が率先して地方創生をどんどん進めてほしい。

## 5 戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」

(とくしま目安箱への投稿)

	項目	意見・提言の内容
1	災害避難所のコロナ対策について	大雨・台風等の季節の際に避難所におけるコロナ感染予防対策の準備は出来ているか、また感染者が発生した場合の対処を周知してもらえると不安・混乱も和らぐように思う。
2	徳島の観光について	徳島県で生まれ育ったのでもっと徳島のいい所を県外の人に知って欲しい。LEDで企業と協力して西日本最大のイルミネーションスポットを作ったり、自然を生かしたアクティビティを増やしたり、医者が多いので病児保育を増やしたり、女性社長が多いので不妊治療や子育てをしながら働ける職場作りをしてはどうか。
3	マリンピアの新たな将来について	マリンピアコンテナターミナルは、その機能が小松島に移ったことで広大な土地が未利用状態になっている。貨物船の誘致などで四国の内航港湾拠点とすべきである。 またそれに伴う観光推進を行うべきである。
4	剣山のトイレの改修について	過去に剣山に行ったとき、ロープウェイ入り口のところのトイレに「車いす対応のトイレ」がなかった。車いすで山に登れなくても、せめてそこまでは連れて行ってやりたいので早急に対応していただきたい。
5	玄関にLEDバーを設置することについて	現在空き家が多くなり、各家庭への関心も減っている。LEDでお知らせバーを作成し、各住居の玄関に設置してはどうか。問題ない時は緑、災害時・SOSの時は赤になる。取り外して、遠くの方との情報伝達もできるのではないか。
6	漢方生薬国産化支援について	漢方生薬を生産希望の農産者への行政支援を要請する。 以前は国内でも生薬生産が行われていたが赤字経営が続くため生産を止めている。海外からの輸入量も減っており生薬原料が値上がりして価格が上がることで漢方薬を希望する人が困っている。
7	徳島県のライブハウスについて	徳島県にはコンサートホールはあるが、ライブハウスは1軒しかない。収容人数1000人ほどのライブハウスが徳島駅前にてできれば駅前が明るくなるし、県外からのファンがたくさん来ると思う。阿波踊りが好きなように音楽がとても近い存在にある県なので、実現して欲しい。
8	大雨時の浸水予測について	本県では雨量計を各地に設置して、各河川の水量を計測していると思うが、あらかじめ予測される雨量から堤防決壊などを予測してどの地域にどの程度の浸水が起きるか警告するようなシステムはないか。
9	wifiを使った火災報知器について	火災予防第一だが、予期せぬところから出火することもまあある。そこでwifi(フリーを含む)と組み合わせた火災報知器を提案したい。